

茨城県の環境の今

- 霞ヶ浦の流入負荷と大気環境の変遷 -

令和5年
12月2日(土)

13:30~15:45

ハイブリット開催
(会場・オンライン)

参加費
無料

要事前申込

茨城県霞ヶ浦環境科学センターでは、県内の湖沼・河川の水環境や大気環境などの保全に取り組むため、調査研究を行っています。

公開セミナーでは、環境保全にご興味のある一般県民のみなさまに理解を深めていただくため、茨城県の環境の現状について調査研究結果などを踏まえて分かりやすく解説します。

会場

茨城県霞ヶ浦環境科学センター
1階 多目的ホール
土浦市沖宿町1853番地

定員

会場 80名 (先着)
オンラインZoom 100回線 (先着)

プログラム

※ 進行により時間は多少前後することがあります。
※ 会場の様子は、記録のため録画されます。

申込みはこちらから

令和5年**11月29日(水)**までに、
QRコード又は下記のアドレスから
「いばらき電子申請・届出フォーム」
にアクセスし、必要事項を記入の上、
お申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=48583



13:00 開場

13:30 開会の挨拶

センター長 江幡 一弘

13:35 基調講演

「近年の集中豪雨の経年変化と
大雨をもたらす線状降水帯」

気象研究所 台風・災害気象研究部
部長 加藤 輝之 氏

大雨ってどう起こるの？

近年発生している集中豪雨においてよく耳にする線状降水帯
についてお話しいたします。

14:35 休憩

14:40 研究発表

○霞ヶ浦における流入負荷の
長期変化とその要因

湖沼環境研究室
主任 大内 孝雄

霞ヶ浦の流入負荷はどう変化？

霞ヶ浦に流入する窒素の負荷を今と昔で比較し、変化した理由を説明します。

○茨城県における大気環境の
変遷について

大気・化学物質研究室
主任 齋藤 佑樹

大気には何が含まれているの？

大気中に含まれる様々な有害物質のモニタリング調査について報告します。

15:45 閉会

15:50 分析室案内ツアー

